



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年10月28日（金）No.25発行
文責：松本 卓也

「石工の郷 八代」の魅力を伝える Part4

～「良かった！」と言われて達成感がありました。～

23日（日）に開催されました「第48回東陽しょうが祭」は、天気にも恵まれ、大盛況でした。7月から準備を始めていた「中学生ボランティアガイド」が、ついにデビューしました。1回目（9:00）の開始時間近くになっても参加希望者がなく、少々心配していましたが、K前校長先生を皮切りに続々と申込みがあり、最終的に19団体、41名の方に対してガイドを務めることができました。



「思いつきで立ち寄りしましたが、思いがけないいいガイドをしていただき、ありがとうございます。歴史ある物、場所に出会えてよかったです。」と、徳島県から旅の途中でたまたま立ち寄られたT様を始め、ガイドに参加された方々から、「よく勉強していて、素晴らしいガイドでした。来年も来たいです。」「東陽町が大好きになりました。」等、嬉しい感想をいただきました。また、「東陽だけでなく、近くの町の橋の説明を加えると、もっともっと素敵な語りになると思います。」「自分自身の能力向上に加え、地域を元気づけ、東陽の良さを発信するとてもよい取組なので、これからも頑張ってください。」とのアドバイスや温かなエールをいただきました。ガイド終了時には、ボランティアリーダーのOさんが、『良かった！』と言われて達成感がありました。次回（12月）に向けて、また頑張っていきましょう。」と充実した表情で感想を述べてくれました。緊張しながらも、ふるさとの魅力を懸命にアピールしてくれた子どもたちの姿は、まさに“自立し、地域社会に貢献する姿”そのものでした。石工のレジェンド、橋本勘五郎さんの生誕200周年の節目の年に、よいスタートが切れました。さらに充実した取組になるよう、子どもたちと共に励んでまいります。これまでご尽力をいただいた、東陽まちづくり協議会、東陽支所、八代市文化振興課、地元有志の皆さま方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



作業が楽しいです！ ～農業体験学習～

21日（金）、1学年「農業体験学習」を実施しました。一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の一環であり、2学年「職場体験学習」、3学年「高校調べ・体験入学」につながるものです。爽やかな秋晴れの中、ホウレン草の種まきと丹頂アリウムの球根の植え付けを行いました。感想を聞くと、「作業が楽しいです！」と元気な声が返ってきました。また、作業の間には、ご指導いただいたU様から「可能性は無尽大です。将来、どんな仕事に就くにせよ、今、しっかり勉強しておきなさい。」との貴重なアドバイスをいただきました。働くことの喜びや意義を感じた体験学習になりました。



教師修養 第8弾 ～「未来に残したい東陽町」～

27日（木）、熊本県中学校英語教育研究大会が開催され、N教諭が、3年生の授業を公開しました。子どもたちは、3つの記事（笠松橋、石橋公園、石匠館）から自分が未来に残したいものや風景を1つ選び、理由を含めて英語で伝え合っていました。英文を書いてから話すのではなく、“（外国語で）即興で表現する力”を高めるために、場面設定や中間指導での助言等、さまざまな工夫が見られた授業でした。参観された先生方からは、「英語でどんどん話せるのがすごいですね。」「外国人観光客の方に英語でボランティアガイドするという必然性があり、とても意欲的でした。」等の感想をいただきました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）